

今号の表紙

春日市文化祭

11月5日・6日に、ふれあい文化センターなどで「第38回春日市文化祭」を行いました。舞台発表や作品展示、書道パフォーマンス、一箱古本市などさまざまな催しを開催。会場は「市民でつくる市民のための文化の祭典」を楽しもうと、多くの来場者でにぎわいました。



CONTENTS

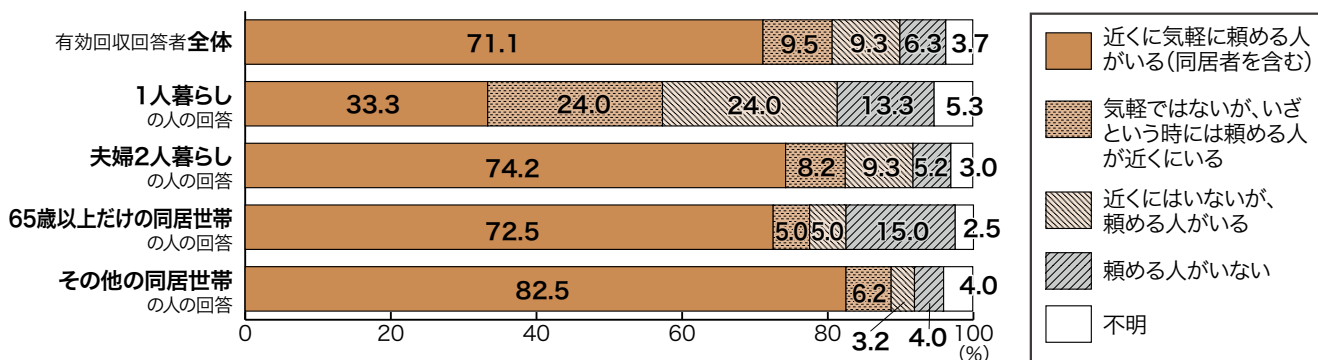
高齢者実態調査	02
春日市人事行政の運営などの状況	06
火災に注意	09
市からのお知らせ	10
トピックス／広報レポーターだより	12
情報ひろば	14
健康掲示板／カンガルー通信	18
コミュニティスクール／お誕生日おめでとう	19

計画」見直しに関する高齢者実態調査

平成23年度中に「春日市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の見直しを行うに当たり、高齢者福祉と介護保険に関する意識と実態を把握するため、実態調査を行いました。その調査の集計結果の一部をお知らせします。

① 「緊急時の対応」 〈「高齢者の日常生活と介護保険に関する調査」から〉

問 緊急時の対応などについて、お尋ねします。お住まいの近くに(おおむね30分以内)、あなたがもし病気で倒れたときに、身の回りの世話を頼める親族や友人・知人がいますか。

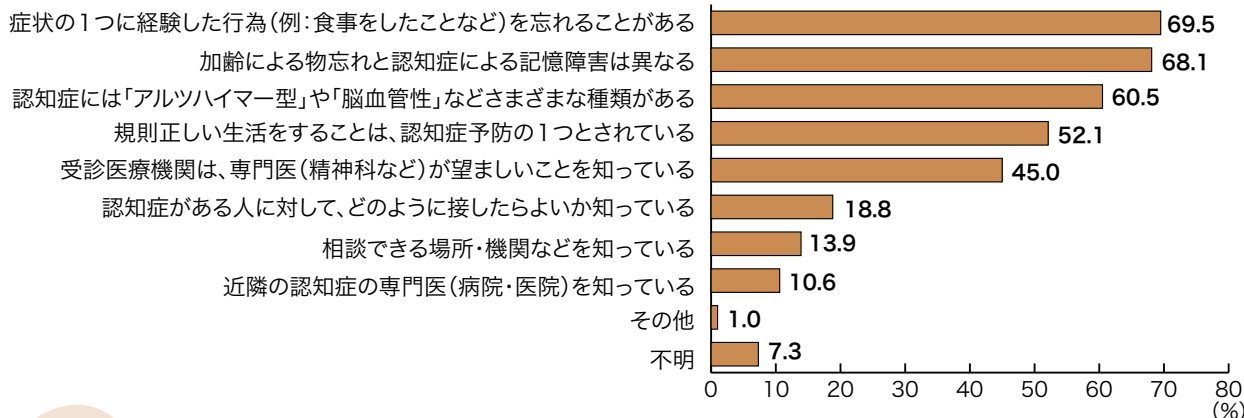


調査から 見えてきたこと

- ▶ 1人暮らしの世帯では、「近くに頼める人がいる」または「気軽ではないが、いざという時に頼める人がいる」と回答した人はおよそ半数ですが、他の世帯区分の同回答の割合が8割を占めている状況と比べると少なくなっています。
- ▶ 「頼める人がいない」という回答は、1人暮らし世帯が13.3%、65歳以上だけの同居世帯が15.0%と、全体の平均割合と比較して高くなっています。

② 「認知症の理解度」 〈「高齢者の日常生活と介護保険に関する調査」から〉

問 認知症に関して、次のようなことを知っていますか。



調査から 見えてきたこと

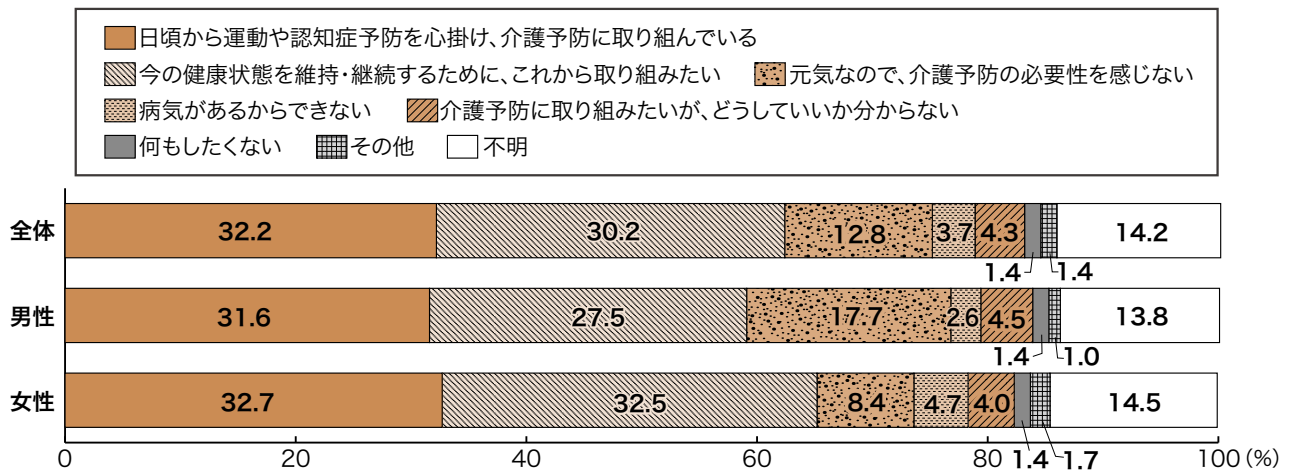
- ▶ 認知症の症状や特徴などについて知っている人の割合は、約6割と高くなっています。しかし、相談機関や認知症の専門医(病院・医院)などの具体的な対応の方法については、知っている人の割合が約1割と低い結果になっています。

「春日市高齢者福祉計画・介護保険事業」

調査概要	調査名称	対象者	調査時期	有効回収数(割合)
1	高齢者の日常生活と介護保険に関する調査	要支援・要介護認定を受けていない満65歳以上の人中から無作為抽出した1500人	平成23年 4～5月	1081件(72.1%)
2	介護保険サービス利用者実態調査	介護保険の居宅サービスを利用している満65歳以上の人中から無作為抽出した700人		440件(62.9%)

③ 「介護予防への取り組み状況」 〈「高齢者の日常生活と介護保険に関する調査」から〉

問 自分自身で、介護予防に取り組んでいますか。

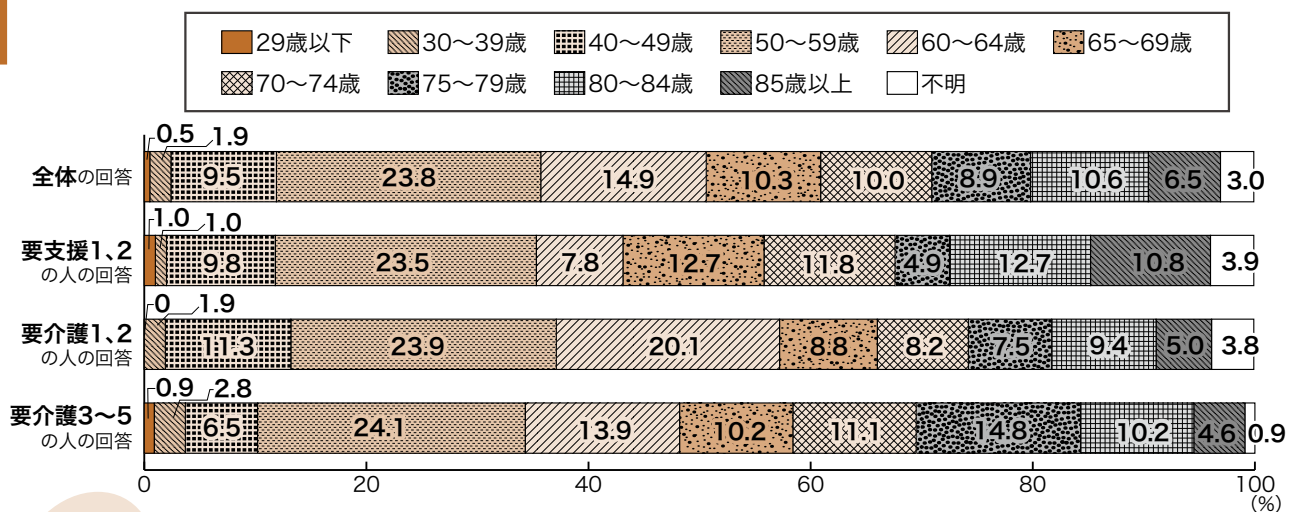


調査から

見えてきたこと

- ▶ 「日頃から介護予防に取り組んでいる」(32.2%)または「今後、介護予防に取り組みたい」(30.2%)と回答した人の割合を合わせると、約6割と高い割合になっています。
- ▶ 男性は女性に比べて、「今後、介護予防に取り組みたい」という回答の割合が5ポイント低く、「元気なので、介護予防の必要性を感じない」という回答の割合が高くなっています。

④ 「主な介護者の年齢」 〈「介護保険サービス利用者実態調査」から〉



調査から

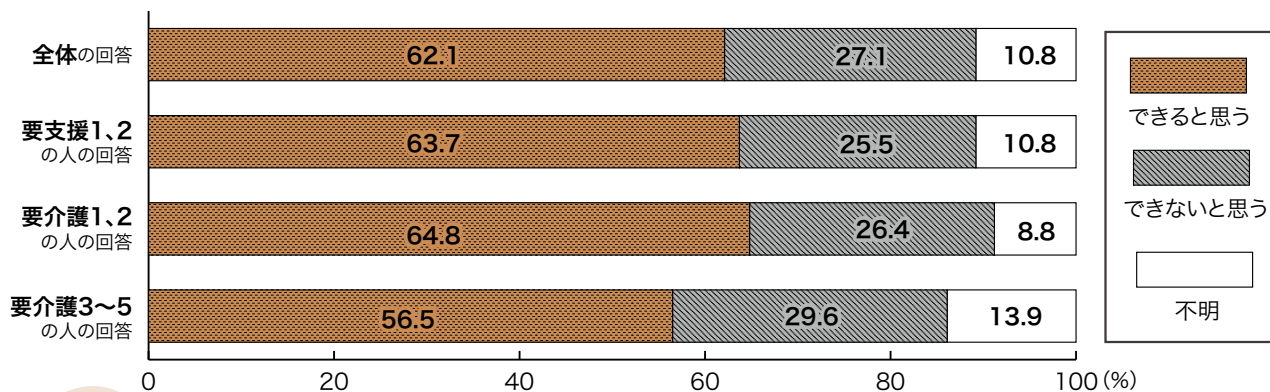
見えてきたこと

- ▶ 介護者の年齢については、全体の46.3%が、「65歳以上」のいわゆる「老老介護」の状態となっています。
- ▶ 要介護度別にみると、要介護3～5の人を介護する65歳以上の人は半数を超えており、そのうち75歳以上の人は29.6%にもなっています。

⑤ 「今後3年間の自宅での介護の継続の可否」 〈「介護保険サービス利用者実態調査」から〉



今後3年間の自宅での介護についてお尋ねします。自宅での介護の継続ができますと思いますか。



調査から

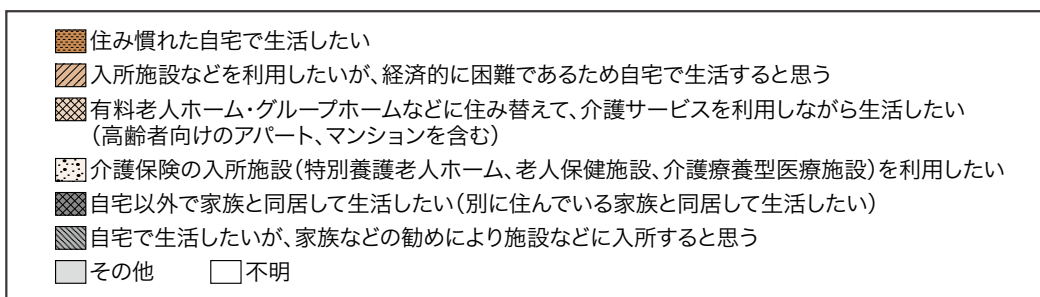
見えてきたこと

▶ 今後3年間、自宅での介護の継続が「できる」と回答した人の割合は62.1%であり、要介護度が高くなるにつれて、「できないと思う」と回答した人の割合が高くなっています。

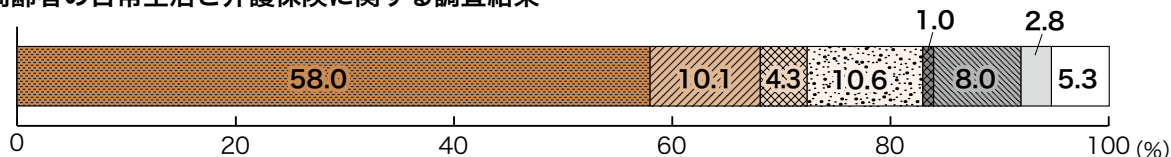
⑥ 「今後3年間の生活希望」 〈両調査に関すること〉



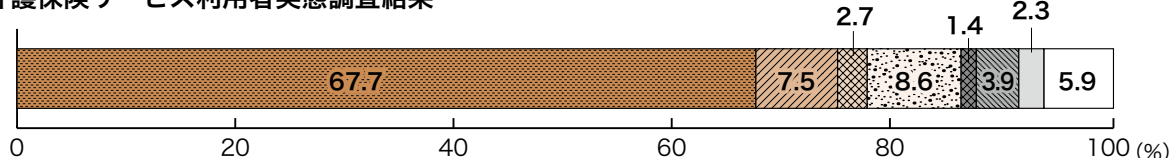
今後3年間のうち、どこで生活したいと思いますか。



高齢者の日常生活と介護保険に関する調査結果



介護保険サービス利用者実態調査結果



調査から

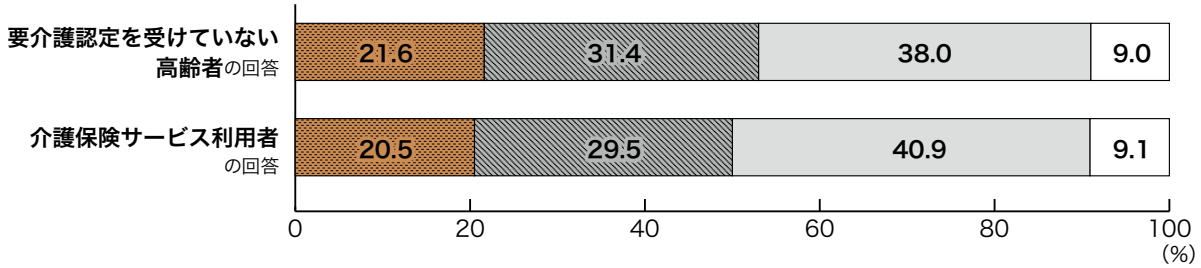
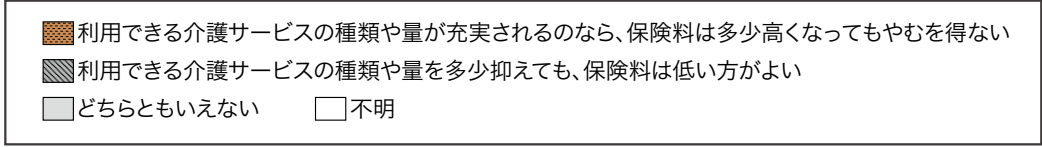
見えてきたこと

▶ 要介護認定を受けていない高齢者および介護保険サービス利用者の両方で、「住み慣れた自宅で生活したい」と回答した人の割合が一番高くなっています。

⑦「介護保険料とサービスのあり方」 〈両調査に関すること〉



介護保険料と介護サービスのあり方について、どのように考えていますか。



調査から
見えてきたこと

- ▶ 要介護認定を受けていない高齢者と介護保険サービス利用者では、介護保険の保険料の考え方について、大きな差は見られませんでした。
- ▶ 「利用できる介護サービスの種類や量を多少抑えても、保険料は低い方がよい」と回答した人の割合は、「利用できる介護サービスの種類や量が充実されるのなら、保険料は多少高くなってもらってもやむを得ない」と回答した人の割合より高くなってはいますが、「どちらともいえない」「不明」を併せた割合がほぼ半数を占めています。

今回の調査を通して、高齢者の生活に対する考え方や、市が抱える高齢者福祉施策の課題などが見えてきました。

この調査結果を踏まえ、「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の見直しに取り組んでいきます。

調査へのご協力、ありがとうございました。

素案に対する意見を募集します
高齢者福祉計画・介護保険事業計画

市は、「高齢者福祉計画2012・第5期介護保険事業計画」を策定しています。この計画は、平成24年度から26年度までの高齢者福祉施策と介護保険事業の方向性を示すために策定するものです。

この計画の素案を公表し、市民の皆さんの意見を募集します。集まった意見は、これに対する市の考え方とともに、個々の意見に対する回答としてではなく、整理した上で公表します。

公表期間 12月15日(木)～平成24年1月13日(金)

公表場所 高齢課(市役所1階)または市ホームページ

募集方法 平成24年1月13日(金)(必着)までに、意見を書いた文書を郵送、ファックス、Eメールのいずれかの方法で送る(窓口提出可)

問い合わせ先 高齢課 高齢者支援担当
(〒816-8501 春日市役所)

TEL (584) 1111
FAX (584) 3090
URL <http://city.kasuga.fukuoka.jp>
E-MAIL kaigo@city.kasuga.fukuoka.jp

問い合わせ先 高齢課 高齢者支援担当 ☎(584)1111 FAX(584)3090

お知らせします 春日市人事行政の運営などの状況

春日市の職員(臨時・嘱託職員などを除く)の数や給与の状況、勤務条件など、人事行政の運営などの状況をお知らせします。

春日市は、民間委託などの行政改革に積極的に取り組んできた結果、少数の職員で効率的な行政運営を行っていることが特徴です。

1 職員の任免と職員数の状況

(1)職員数 411人 (平成23年4月1日現在)

任命権者別職員数

区分	職員数		対前年増減数
	平成22年度	平成23年度	
議会事務局	6人	6人	—
市長事務局	328人	325人	▲3人
教育委員会事務局	80人	74人	▲6人
選挙管理委員会事務局	2人	2人	—
監査事務局	3人	3人	—
農業委員会事務局	1人	1人	—
合計	420人	411人	▲9人

(2)採用者数と退職者数

平成22年度の退職者26人の補充として、平成23年度に17人を採用しました。

職種 (採用職種)	平成22年度		平成23年度
	採用者数	退職者数	採用者数
一般事務	13人	18人	16人
保育士	—	5人	1人
技能労務職	—	3人	—
合計	13人	26人	17人

近隣他市との職員数比較

普通会計における人口1000人当たりの職員数

春日市	A市	B市	C市	D市
3.5人	4.0人	4.3人	4.2人	5.6人

(総務省自治行政局「類似団体別職員数の状況(平成22年4月1日現在)」から作成)

※人口に対する職員数(普通会計)は、春日市が全国の市町村で最少となっています。

(注)普通会計の職員数は、特別職(市長、副市長)および公営企業等会計部門の職員(下水道・国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療などの業務に従事する職員)を除くすべての職員数です。

2 職員の給与の状況

(1)職員の給与の状況(平成23年度)

区分	一般行政職	技能労務職	
初任給	大卒	17万2200円	—
	短大卒	15万5700円	—
	高卒	14万4500円	14万1900円
平均年齢	40.7歳	56.3歳	
平均給料月額	31万8006円	38万8011円	
平均給与月額	38万8885円	41万8039円	

(注)1. 職員の給与は、給料と諸手当の合計額です。

2. 給料は、職務の種類と内容、職責に応じて条例で定められた給料表に基づく額が支給されます。

3. 平均給与月額には、諸手当のうち期末手当および勤勉手当は含まれません。

(2)諸手当

諸手当は、扶養手当、通勤手当、期末手当、勤勉手当など、該当する職員に条例で定められた算定方法に基づく額が支給されます。



3 職員の勤務時間、その他の勤務条件

(1) 勤務時間(平成23年度)

① 1週間の勤務時間

38時間45分(1日当たり7時間45分)

② 勤務時間の割り振り

基本的な勤務時間 午前8時30分から午後5時まで
(休憩時間 午後0時15分から午後1時まで)

※施設などにおける変則勤務あり。

(2) 休暇

休暇には、年次有給休暇、病気休暇、特別休暇、介護休暇、組合休暇があります。

項目	平成21年度	平成22年度
職員1人当たりの平均年次有給休暇取得日数	11.3日	12.2日

※変則勤務の職場などを除く。

(3) 育児休業

項目		平成21年度	平成22年度
育児休業取得者数	男性	0人	0人
	女性	15人	16人
育児部分休業取得者数	男性	0人	0人
	女性	2人	4人



4 職員の分限および懲戒処分の状況

(1) 分限処分(平成22年度)

分限処分とは、職員の勤務実績がよくない場合や、疾病のためにその職責を果たせない場合などに、公務能率の維持およびその適正な運営の確保を図るために行う不利益処分のことをいいます。

区分	休職	降任	免職	合計
人数	13人	0人	0人	13人

(2) 懲戒処分(平成22年度)

懲戒処分とは、職員に職務上の義務違反や公務員としてふさわしくない非行がある場合に、公務における規律と秩序の維持を目的に行う不利益処分のことをいいます。

区分	戒告	減給	停職	免職	合計
人数	0人	0人	0人	0人	0人

5 職員の服務の状況

(1) 服務上の義務

職員には、地方公務員法により、法令および上司の職務上の命令に従う義務、信用失墜行為の禁止、秘密を守る義務、職務に専念する義務、政治的行為の制限、争議行為の禁止、営利企業などの従事制限など、服務上の義務が課せられています。

(2) 職務に専念する義務の免除の状況

職員の職務に専念する義務の特例に関する条例により、研修を受ける場合、厚生に関する計画の実施に参加する場合などに職務に専念する義務が免除されることがあります。

項目	平成21年度	平成22年度
職務に専念する義務の免除	172件	213件

(3) 営利企業などの従事の許可状況

職員は、営利企業の役員になったり、報酬を得て事業や事務に従事したりすることはできません。

ただし、職務の遂行に支障や影響がなく、地方公務員としての信用を傷つけるおそれがない場合は、許可されることがあります。

項目	平成21年度	平成22年度
営利企業などの従事の許可	5件	73件

※平成22年度は、国勢調査が実施され、職員が勤務時間外に指導員業務に従事したことから、件数が大幅に増えています。

6 職員の研修・勤務成績の評定の状況

(1) 職員研修の状況(平成22年度)

総事業費 571万9000円

区分	主な内容・派遣先	コース・回数	受講人数
自主開催研修	監督職研修、文書事務研修など	9コース (17回)	延べ 456人
派遣研修	福岡県市町村職員研修所、市町村職員中央研修所など	113コース (113回)	延べ 189人
合計		122コース (130回)	延べ 645人

(2) 勤務成績の評定状況

職員の日常の仕事ぶりや勤務態度を通じて、勤務成績を評価し、昇任や配置などの人事管理に活用しています。
また、平成21年度から、組織の業績向上と人材育成を目的とする新たな人事評価制度を導入しています。

7 職員の福祉などの状況

地方公務員法の規定に基づき、職員の保健、元気回復のほか厚生に関する事項を計画的に実施しています。

(1) 職員互助会

職員互助会は、会員の福利厚生に関する事業の実施や相互扶助、親睦しんぼくを図ることを目的としており、会員の掛金と市助成金で運営しています。

主な事業 ①福利厚生事業②慶弔給付事業③貸付事業
予算、決算の状況

区分	平成22年度決算	平成23年度予算
会員の掛金	820万1000円	808万8000円
市の助成金	757万9000円	728万円

※平成22年度から慶弔給付事業を市の助成金対象外としています。

(2) 職員の健康管理

職員の健康を確保するため、健康診断を実施しています。

平成22年度受診者数	405人
------------	------



(3) 共済制度

職員の共済制度は、福岡県市町村職員共済組合に加入し、共済組合が短期給付(医療)、長期給付(年金)、福祉事業(健康保持増進事業、貸付事業など)を行っています。

(4) 公平委員会の状況

職員は、全体の奉仕者という立場から労働基本権の一部が制限されています。このため、中立的な機関である公平委員会に対して、身分上および経済上の権利・利益の保護を求めることができるようになっています。

平成22年度については、適正な勤務条件の確保に関する「勤務条件に関する措置要求」および身分保障を確実にするための「不利益処分に関する不服申立て」はありませんでした。

(5) 公務災害・通勤災害の状況(平成22年度)

職員が、公務中または通勤中に被災した場合は、その災害によって受けた傷病について治療費などが補償されます。

区分	件数
公務災害	1件
通勤災害	1件

問い合わせ先 総務課人事担当

☎(584)1111 ㊚(584)1145

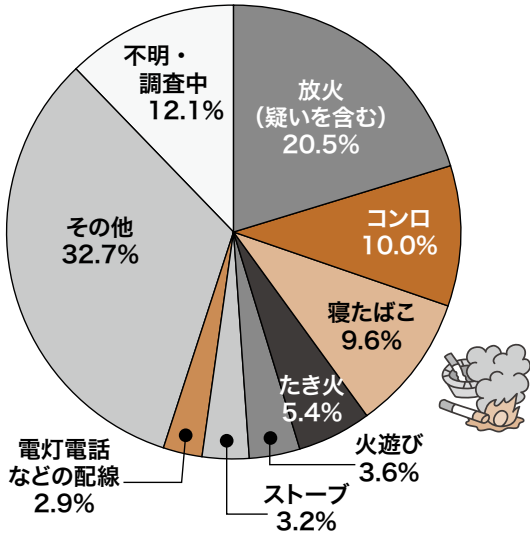
🌐 <http://www.city.kasuga.fukuoka.jp>

火災に



注意

冬は乾燥しやすい気候のため、特に火災が発生しやすくなります。
 自分、そして家族の命を守るため、火災を予防する習慣を身に付けて、万が一に備えましょう。



■平成22年中の火災の出火原因

火災を防ぐ3つの習慣

① コンロなどのそばを離れる
 ときは必ず火を消す



てんぷら油は加熱し続けると15〜20分で発火します。コンロの使用中に訪問対応や長電話をする際は、必ず火を消しましょう。

② 寝たばこは絶対にしない

寝たばこは火災の原因の第3位です。ベッドや布団での喫煙はやめましょう。

③ ストープは燃えやすい物から離れた位置で使用する

洗濯物が乾きにくいなどの理由で衣類を室内に干すときは、火の元から離れた場所に干しましょう。

また、節電のため、石油ストーブの使用が多くなると思われます。「給油の際は必ず火を消す」「ストーブをつけたまま寝ない」など、安全に正しく使用しましょう。



命を守る4つの対策

① 住宅用火災警報器を設置する

火災による死亡事故の多くは逃げ遅れです。火災の早期発見のため、警報器を設置しましょう。

住宅用火災警報器の設置は条例で義務付けられています。まだ設置していない人は、早急に設置しましょう。

② 「防災品」を使用する

寝具、衣類、カーテンからの火災を防ぐために、燃えにくい素材のものを

選びましょう。

③ 住宅用消火器などを設置する

火災を小さいうちに消すために、台所などの火の気がある場所で、すぐに手が届くところに設置しましょう。

また、耐用年数を過ぎた消火器による事故が多発しています。古い消火器は業者に依頼して回収してもらいましょう。

④ 隣近所の協力を体制をつくる

不審火から住居や身を守るため、また高齢者や体の不自由な人を守るために、普段から近所の人と協力し合える関係をつくりましょう。



火事だ！そのときどうする？

初期消火活動の3原則

① 早く知らせる

「火事だ！」と大声を出して、隣近所に知らせ、ただちに119番通報する。

② 早く消火する

出火から3分以内が自分で消火できる限界です。消火器だけでなく、毛布、濡らしたタオルなど身近な物を利用して消火しましょう。

③ 早く逃げる

天井まで火が燃え上がった場合は、自分で消火を諦め、すぐに避難しましょう。その際、子どもや高齢者などを優先して避難させましょう。



地域を守る消防団

普段は仕事を持ちながら、火災をはじめとする災害から地域を守る存在の消防団。災害現場での活動はもちろん、予防活動においても地域の安心と安全を守ります。

春日市消防団では、ボランティア活動をしたいと思っている人、地域のために何かできることを探している人などを募集しています。

昨年から女性消防団員の任用を開始しており、主に予防・広報活動を行っています。

消防団に興味のある人は、男女を問わず、気軽に道路防災課へ問い合わせてください。



▲火災予防の街頭啓発をする女性消防団員

問い合わせ先

道路防災課 消防防災担当

☎(584)1111

FAX(584)1143

市からの

public information from KASUGA city

お知らせ

「市からのお知らせ」をはじめ、市報に掲載した記事は、市報の発行日(毎月1日と15日)以降、市ホームページの「お知らせ」にも載せます。

そのほか、市報に掲載していない情報もありますので、ぜひ利用してください。

市ホームページアドレス <http://www.city.kasuga.fukuoka.jp>

冬の電力不足解消のため

節電にご協力を

環境課 環境計画担当 ☎(584)1111 ☎(584)1147

今 冬の九州電力管内の電力不足が予測されるため、福岡県では「福岡県緊急節電対策本部」を設置し、次の期間中、昨年度比5%以上の節電を目指しています。

無理のない範囲で、使用していない部屋の電気はこまめに消すなどのご協力をお願いします。

期間 12月26日(月)～平成24年2月3日(金)(平日)

時間 午前8時～午後9時

▽節電ダイヤル(午前9時～午後5時)

☎0570(064)443

▽政府の節電ポータルサイト「節電.s.o.j.p」

URL <http://www.setuden.go.jp>

▽節電メニュー(具体的な節電メニューを紹介)

URL http://www.meti.go.jp/earthquake/electricity_supply/0325_electricity_supply.html

※17ページ「STOP地球温暖化」に関連記事を掲載しています。



節電にご協力を

嘱託職員を募集します

中学校給食管理員(嘱託)

教務課 庶務給食担当 ☎(584)1111 ☎(584)1153

市 内の中学校で給食管理業務、学校事務業務を行う中学校給食管理員(嘱託)を募集します。

勤務場所 市内の中学校
報酬 月額14万5000円程度
(有給休暇・社会保険あり、賞与・交通費支給なし)

業務内容 中学校の給食管理業務(配膳室の管理、給食申込事務など)、学校事務業務など

募集人員 若干名

対象 パソコンの操作(ワード・エクセルなど)ができる人

選考方法 書類審査、面接

任用期間 平成24年2月1日～3月末(勤務する学校によって異なる)

応募方法 12月27日(火)(必着までに、履歴書を提出する(郵送可))

勤務日数 週5日(月～金曜日)

応募先 教務課庶務給食担当(〒816-18501春日市役所)

勤務時間 午前8時15分～午後5時

45分の休憩あり)

時のうち7時間30分(途中

45分の休憩あり)



サルに注意!!



10月下旬、市内および近隣の複数の場所でサルが目撃されています。今のところ、人的・物的被害を受けたという情報はありませんが、サルを目撃した場合は、次のことに注意しましょう。

注意点

- ▷むやみに接近しない
不用意に近づくと襲われることがあります。
- ▷目を合わせない
目を見つめると、サルが「威嚇された」と勘違いして、攻撃してくることがあります。
- ▷大きな声を出して驚かせない
サルの防衛本能が刺激されて、人を襲うことがあります。
- ▷食べ物を与えない
エサを与えると、サルがそこに居ついてしまうことがあります。
- ▷戸締りをしっかりと行う
2階の窓から家屋に侵入することがあります。

サルを目撃した場合は連絡してください。身体への危険がある場合は、警察へ通報しましょう。

問い合わせ先 地域づくり課商工農政担当

☎(584)1111 ☎(584)1153

年末年始 ごみ収集などの休み

○ごみ収集休み

12月31日(土)～平成24年1月3日(火)
※振替収集はありません。

○し尿収集休み

12月29日(土)正午～平成24年1月4日(水)

○自己搬入休み

▷春日大野城リサイクルプラザ
12月30日(金)～平成24年1月3日(火)
▷クリーンパーク南部
12月31日(土)午後3時～平成
24年1月3日(火)

問い合わせ先 ごみ減量推進課

☎(584)1111 ☑(584)1147



成人おめでとうございます

春日市成人式

社会教育課 社会教育担当 ☎(575)4121 ☑(593)7380

20歳の門出を祝う成人式を開催します。

当日は式典の他、成人式実行委員会の企画によるアトラクションやお楽しみ抽選会も行います。

対象 平成3年4月2日～平成4年4月1日に生まれた人

※春日市に住民登録をしている対象者には、案内状を12月中旬に送付します。

なお、春日市に住民登録をしていない新成人でも成人式には出席できます。

日時 平成24年1月9日(月)

午前10時～正午予定(開場：午前9時30分)

場所 ふれあい文化センター新館スプリングホール(大谷6-24)

※車での来場はご遠慮ください。

平成22年度受診率が確定

特定健康診査を受診しましょう

国保年金課 国保担当 ☎(584)1111 ☑(584)1141



平成22年度特定健康診査の受診率が確定しました。下表のとおり対象者数1万5172人に対して、受診者数は2732人で、受診率は18%です。

特定健康診査は、春日市国民健康保険被保険者のうち40歳から75歳まで(今年度75歳になる人は誕生日の前日まで)の人に対して行う健康診査で、今年度は平成24年2月まで実施しています。

生活習慣病になる前に体の異常を見つけて、生活を改善し、病気を予防することが目的です。ぜひ特定健康診査を受けて自分の体の状態を確認しましょう。

■平成22年度特定健康診査受診率(地区別)

地区名	受診者数(人)	対象者数(人)	受診率(%)	地区名	受診者数(人)	対象者数(人)	受診率(%)	
泉	67	296	22.6	須玖南	123	723	17.0	
大谷	115	559	20.6	惣利	89	402	22.1	
大土居	39	257	15.2	宝町	44	322	13.7	
岡本	52	342	15.2	ちくし台	62	299	20.7	
春日	91	478	19.0	千歳町	44	339	13.0	
春日公園	91	417	21.8	塚原台	44	250	17.6	
春日原	86	547	15.7	天神山	93	524	17.7	
春日原南町	30	172	17.4	昇町	140	842	16.6	
上白水	124	846	14.7	光町	50	294	17.0	
小倉	102	545	18.7	日の出町	61	403	15.1	
小倉東	41	209	19.6	平田台	80	304	26.3	
桜ヶ丘	88	501	17.6	松ヶ丘	123	470	26.2	
サン・ビオ	44	207	21.3	紅葉ヶ丘	180	869	20.7	
下白水北	82	520	15.8	大和町	16	115	13.9	
下白水南	111	660	16.8	弥生	71	469	15.1	
白水池	63	262	24.0	若葉台西	77	411	18.7	
白水ヶ丘	60	396	15.2	若葉台東	50	255	19.6	
須玖北	99	664	14.9	市外	0	3	0.0	
					市全体	2732	1万5172	18.0

白水要子さん

熟練者全国空手道選手権大会優勝

11月6日に東京都で行われた「第11回熟練者全国空手道選手権大会」に出場した白水要子さん(下白水南地区)が、個人戦女子40歳形の部で優勝、組手の部で3位と好成績を収めました。

空手を始めて6年目、現在空手3段の白水さんは、塚原台にある道場「空翔館」で週2回練習しています。今年の初めには体調を崩し、練習に復帰できたのは大会2カ月前の9月。しかし、6年間鍛え上げてきた体力のおかげで、ブランクを感じることなく練習に取り組めたそうです。

11月15日、優勝報告のために市役所を訪れた白水さん。市長の「頑張りが実ったのでしょ。おめでとうございます」という言葉に、「師範や周りの人のおかげです。皆さんに心配をかけたので、元気になりましたという報告と恩返しができる嬉しいです」と話してくれました。



広報レポーターだより

◎市民から公募した広報レポーターが身近な話題を提供します。

市民同士の絆を深める

であい祭2011

11月12日、春日まちづくり支援センター「ぶどうの庭」で、「であい祭2011」が行われました。

当日は天候にも恵まれ、たくさんの市民が来場。また、毎年九州場所の期間中、同施設を利用している芝田山部屋しばたやまの力士も参加しました。

お祭りでは力士との餅つきをはじめ、ちんどんパフォーマンスやかすがYOSAKOI隊による演舞、手話ダンスなどさまざまなイベントがめじろ押し。また、カレーや手打ちそば、手作りパンなどたくさんの屋台も出て、食欲の秋にふさわしい美味しいお祭りでもありました。

「ぶどうの庭」の長野理事長は、「今日のお祭りを心行くまで楽しんでいただき、心の絆を広げてほしい」と挨拶していました。



(広報レポーター 藤田 るみ)

美しいまちづくり

秋のクリーン作戦



11月13日、市内全域で「秋のクリーン作戦」が行われ、小さな子どもからお年寄りまで、大勢の人が清掃活動に参加しました。

普段なかなか行き届かない場所を、この日は一生懸命大掃除。ほうきとちり取りを持って近所のごみを拾い集めて回る小学生の姿も見られ、見る見るうちに、まちはきれいになりました。

この美しいまちがずっと維持できるよう、ごみのポイ捨ては絶対にやめましょう。

(広報レポーター 吉田 文子)





▲表彰式に出席した手島さん(写真右)と宮崎さん(同左)

第35回春日奴国あんどん祭り

あんどんアートコンテスト表彰式

11月15日、市役所で、春日奴国あんどん祭りの一環として10月30日に行われた「あんどんアートコンテスト」の表彰式が行われました。受賞者は次のとおりです。

あんどんアートコンテスト受賞者(敬称略)

最優秀賞 ならおまゆみ 榎尾真由美(熊本市)

優秀賞 てしまけいじろう 手島敬治郎(田川市)、みやざきやすこ 宮崎靖子(春日市)

市内の被表彰者は5人

善行者表彰式

11月17日、ふれあい文化センターで、筑紫地区少年愛護連盟による「平成23年度善行者表彰式」が行われました。

この表彰式は、他の模範となる行動を取った筑紫地区の小・中学生や高校生を表彰するもので、春日市からは次の5人が表彰されました。

市内の被表彰者(敬称略)と功績

▷ まつもとかずさ 松本和紗(大谷小学校4年生)

10月5日、登校中にUSBを拾って下白水警部交番に届けた。

▷ やまだゆうか 山田悠花(須玖小学校6年生)、ほんだほのか 本田穂乃佳(須玖小学校6年生)

9月24日、須玖小学校前のコンビニ店で、校区在住の高齢者と思われる人が誤って数台の自転車を倒してしまった。そのとき重なり、絡み合っただけで離れない自転車を2人が一緒に協力して手伝い元通りにすることができた。

2人は、学校名だけを告げてその場を去った。後日、その高齢者から学校へお礼の手紙が届き、みんなが知ることとなった。

▷ りゅうまりな 龍 真利奈(春日西中学校3年生)

9月2日、正門を出てすぐの交差点のところで、車に接触してケガをしていた小学校5年生の女の子に会った。女の子は習い事に行く途中で車と接触したらしく、その時は運転手からきついことを言われて泣いていた。すると、運転手が女の子を車に連れ込



▲(写真左から)本田さん、山田さん、龍さん、松本さん、鳥飼さん

み、その場を移動しようとしたので、「知らない人の車に乗ってはいけないよ」と言って引き止めた。その後、車は立ち去った。女の子から事実を確認し、車のナンバーを覚えていたので、紙に書いて渡し、励ましの言葉をかけた。心配だったので、自分の父親にそのことを相談して、父親から警察に連絡をしてもらった。

▷ とりかいさとし 鳥飼悟志(春日高等学校2年生)

10月27日、学校前の歩道で、40代の男性が口から泡を吹き倒れているのを発見した。よく観察してみると、その男性は口から血を吐き出して全身にけいれんを起こしていた。慌てて近くの事務所に飛び込み救急車の依頼と応援をお願いした。応援の人と一緒に気道の確保・安静の体位などの応急処置を行った。約10分後に救急車がきて、男性は病院へ搬送された。

翌日、倒れていた男性の母親より春日高校にお礼の電話が入り、全校生徒の呼びかけで、上記の生徒であると判明した。

情報ひろば INFORMATION

春日市役所

☎(584)1111

www.city.kasuga.fukuoka.jp



第35回春日奴国あんどん祭り あんどん一般作品展示会

春日奴国あんどん祭りのうち、降雨のため中止した「あんどん作品展示」の市内幼稚園児、小・中学校生の作品と一般作品を展示します。

皆さんぜひ見に来てください。

期日 12月23日(金)～25日(日)

点灯時間 午後5時～9時

場所 ふれあい文化センター正面

入口前広場(大谷6-24)

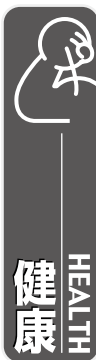
問い合わせ先 春日市民祭り振興

会(春日市商工会館内)

☎(581)1407

☎(575)0702

URL <http://www.andonmatsuri.com/>



高齢者運動教室 「転ばん塾」

体力に自信がない高齢者を対象に、介護や寝たきり知らずの身体づくりを目指す運動教室です。

健康運動指導士や理学療法士などが転倒予防の実技指導を行います。

対象 65歳以上で次の項目のうち

3つ以上に該当する人

▽階段を昇るときは、手すりや壁の支えが必要である

▽椅子に座った状態から、何かにつかまらないと立ち上がれない

▽15分続けて歩けない

▽1年以内に転んだことがある

▽転倒に対する不安が大きい

▽介護認定を受けている人は対象外です。

日時 毎週火曜日

午前10時～正午

※体験参加もできます。詳しくは

問い合わせてください。

場所 いきいきプラザ(昇町1-120)

※自分で来所できない人は、送迎

事業(片道100円)を利用することが

できます。

内容 ストレッチ、筋力やバラン

ス力向上のための体操(主に

座位運動)、レクリエー

ション、体力測定など

参加費 1回200円

申込方法 電話などで申し込む

申込・問い合わせ先 健康課介護

予防担当



シオン、体力測定など

参加費 1回200円

申込方法 電話などで申し込む

申込・問い合わせ先 健康課介護

予防担当

☎(501)1134

☎(501)0051

いきいき運動サークル 会員募集

音楽に合わせて楽しく身体を動かしてみませんか。レクリエーションの要素も取り入れて、体力に自信がない人も無理なく参加することが

できます。

「最近身体の衰えを実感するこ

とが多くなった」友達を見つけた

い」という人など、まずは体験参加

から始めてみませんか。

対象 65歳以上の人

日時 毎週金曜日

午前10時～正午

場所 いきいきプラザ(昇町1-120)

会費 1カ月1000円(3カ月

分前納)

※スポーツ保険料として別途、年

1000円が必要です。

申込・問い合わせ先 高島

☎(591)5282(☎兼用)



障がい者の 職業訓練生募集

福岡障害者職業能力開発校(北九州市若松区)では、平成24年度の訓練生を募集しています。

対象 身体障害者手帳所持者または

は取得可能な人

※身体障がい以外の障がいがある

人は相談してください。

訓練期間 1年間(プログラム設

計科のみ2年間)

科名・定員

▽コンピュータ製図科 20人

▽プログラム設計科 20人

▽商業デザイン科 20人

▽OAビジネス科 20人

▽福祉住環境科 20人

▽ネットビジネス科 30人

▽総合実務科 20人(知的障がい

者対象)

応募受付期限 平成24年1月6日

(金)(ハローワーク必着)

※応募方法など詳しくは、同校ま

たは最寄りの公共職業安定所

(ハローワーク)に問い合わせ

ください。

問い合わせ先 同校

☎093(741)5431

☎093(741)1340

春日市献血推進協議会

400名献血にご協力を

治療に必要な血液は、すべて献血で賄われていますが、血液は長期間にわたって保存することができません。献血の現状に、ご理解とご協力をお願いします。

なお、採血基準の一部が改正されています。詳しくは問い合わせ

てください。

日時 12月28日(水)

午前9時30分～午後0時30

分、午後1時30分～4時

場所 市役所1階ロビー

持ってくる物 献血カード(手帳)

※持っていない人は、本人確認が

できる物(運転免許証など)を持

参してください。

問い合わせ先 同協議会(福祉計

画課内)

☎(584)1111

☎(584)3090



献血にご協力を



参加者募集
パパママ教室

夫婦でこれからの出産や育児について考えてみませんか。
対象 妊娠経過が順調で、出産予定日が平成24年3月・4月の妊婦とその夫

日時 平成24年1月21日(土)

午後1時30分～4時30分

場所 いきいきプラザ(昇町1-120)

内容 助産師による話「お産の仕事」とリラクゼーション、育児実技(もく浴実習など)

参加費 1組4000円

定員 20組(申込多数の場合抽選) 持ってくる物 母子健康手帳

申込方法 12月28日(水)(必着までに、往復ハガキに住所、氏名(夫婦)、年齢、電話番号、出産予定日を書いて送る

※返信用ハガキには住所、氏名を書き、裏面は白紙で送ってください。

申込・問い合わせ先 健康課保健

指導担当 パパママ教室申込受付(係) 816-10851
昇町1-120 いきいきプラザ内)

TEL (501)1134
FAX (501)0051

離乳食教室
参加者募集

赤ちゃんの食事量や内容で悩んでいる人のための、離乳食の作り方や進め方の教室(離乳食中期以降の話が中心)です。
託児(1人3000円)もありません。

対象 6～8カ月の子どもを持つ保護者

日時 平成24年1月18日(水)

午後1時30分～3時30分

場所 いきいきプラザ(昇町1-120)

参加費 2000円(実習材料費)

定員 20人(申込先着順)

持ってくる物 母子健康手帳、エプロン、三角巾、手拭きタオル、託児に必要な道具(記名済みのもの)

申込方法 12月19日(月)～平成24年1月6日(金)に、電話かファックスで住所、氏名、電話番号、子どもの生年月日、託児の有無を伝える

申込・問い合わせ先 健康課保健
指導担当

TEL (501)1134
FAX (501)0051



独立・創業を目指す人へ
創業セミナー

これから創業を考えている人や開業して1年未満の人を対象に、経営の基礎を学ぶことにより事業を成功に導くためのセミナーです。

対象 中小企業診断士を中心に、創業に向けた具体的なアドバイスを行います。
託児(1回6000円)もありません。

日時 平成24年1月28日(土)、2月4日(土)・18日(土)・25日(土)(計4日間)

場所 午前9時～午後1時
大野城まどかぴあ(大野城あけぼのまち) 市曙町2-3-1-1

内容 創業の準備と心得、資金調達、創業者の体験談、マーケティング



テイニングについて、税務・業務の知識について、事業計画作成
受講料 30000円
申込方法 12月15日(木)～平成24年1月16日(月)に、電話かファックスで住所、氏名、電話番号(携帯電話も)、ファックス番号を伝える
申込・問い合わせ先 春日市商工会
TEL (581)1407
FAX (575)0702

遊び名人の会公開研修会
「ふれあいの喜びを子どもたちへ」
遊びやもの作りを通して子どもたちと触れ合う活動をしませんか。
遊び名人の会では、定例会で遊びを学び合い、学校などへの活動支援を行っています。1月は、文庫活動での実体験を通じた子どもとの触れ合い方などの講演と手作りの遊び体験を行います。
参加は無料で、申し込みも不要です。
誰でも気軽に参加できます。
日時 平成24年1月11日(水)
午後2～4時
場所 ふれあい文化センター旧館
大会議室(大谷6-24)
徳永明子さん(きりん文庫主宰)の講演、知恵の輪パズル

問い合わせ先 社会教育課社会教育担当
TEL (575)4121
FAX (593)7380



相続・遺言・生前贈与など
無料相談会

相続、遺言、生前贈与、名義変更、会社設立、建設業許可、離婚などについて、行政書士が無料で相談に応じます。
日時 12月24日(土)
午後1時～4時30分

場所 クローバープラザ503研修室(原町3-1-17)

問い合わせ先 ききょうの会

TEL (926)7102
FAX (926)7169





身近な自然を感じましょう 冬の野鳥観察会

身近な自然を感じる「野鳥観察会」を行います。春日市で見ることが出来る野鳥を観察しませんか。普段の生活で見かけるけれど名前を知らない鳥や、名前しか知らない鳥などについて実際に観察しながら詳しく解説します。野鳥観察の専門家と一緒に魅力あふれる野鳥の世界に触れてみましょう。

参加は無料です。

対象 市内に居住する人(小学生以下は保護者同伴)

日時 平成24年1月7日(土) 午前9時30分～午後0時30分

場所 白水大池公園(大字下白水209)

定員 30人程度(申込先着順)

申込方法 12月26日(月)までに、電話、ファックス、Eメールのいずれかの方法で参加者全員の住所・氏名・年齢(学年)・電話番号を伝える

※参加者には、後日詳しいお知らせを郵送します。

申込・問い合わせ先 環境課環境計画担当

☎(584)1111

☎(584)1147
kanky@city.kasuga.fukuoka.jp

福岡県農業大学校 研修生募集

同校では、短期間での技術習得研修を実施するため開設している研修科(野菜、花き)の平成24年度研修生を募集します。

対象 県内で就農を希望している人、就農して間もない農業者、品目転換を志す農業者

研修期間 平成24年4月から6カ月以上1年以内

定員 10人程度

面接日 平成24年2月24日(金)

申込受付期間 平成24年1月4日(水)～2月10日(金)

※詳しくは問い合わせてください。

問い合わせ先

▽同校

☎(925)9129

☎(925)2411

▽福岡県農林水産政策課後継人材育成室

☎(643)3495

☎(643)3470

春日まちづくり支援センター

「ぶどうの庭」からのお知らせ

アンビシャス広場」もの作り体験

王国」

対象 小学生(3年生以下は保護者同伴)

期日・内容 平成24年1月7日(土) 土笛作り

▽平成24年1月21日(土) 吹き方講習

時間 午前10時～正午(両日とも)

参加費 200円(2回分)

定員 15人(申込先着順)

持ってくる物 雑巾、古い歯ブラシ、約30cm四方の布、上履

申込方法 12月27日(火)までに、電話、ファックス、Eメールのいずれかの方法で住所、氏名、電話番号を伝える

場所 申込・問い合わせ先 同センター

「ぶどうの庭」(須玖北5-1-155)

☎(589)3388

☎(589)3399

machicen@bb.csf.ne.jp

http://www2.csf.ne.jp/~machicen/

福岡地区職業訓練協会

職業訓練講習

○パソコン「ワード&エクセル」

期間 平成24年2月1日(水)～20日(月)全12回

時間 午前10時～午後4時

場所 同協会

受講料 3万8000円(テキスト代含む)

定員 20人(申込先着順)

申込開始日 平成24年1月4日(水)

○パソコン「エクセル2010中級」

期間 平成24年2月5日(日)、12日(日)、19日(日)全3回

時間 午前9時30分～午後4時30分

場所 福岡商工会議所ビル2階(博多駅前2-9-18)

受講料 1万5000円(別途テキスト代9000円が必要)

定員 20人(申込先着順)

申込開始日 平成24年1月6日(金)

○ガス溶接技能講習

期間 平成24年2月5日(日)・12日(日)全2回

時間 午前8時30分～午後5時30分

場所 同協会

受講料 8000円(別途テキスト代8000円が必要)

定員 60人(申込先着順)

申込開始日 平成24年1月5日(木)

○アーク溶接特別教育講習

期間 平成24年2月19日(日)・26日(日)、3月4日(日)全3回

時間 午前9時～午後5時

場所 同協会

受講料 1万3000円(テキスト代含む)

定員 30人(申込先着順)

申込開始日 平成24年1月12日(木)

申込方法 申込開始日の午前9時以降に電話で申し込む

申込・問い合わせ先 同協会(福岡市東区千早5-13-1)

☎(671)6831

☎(672)2133

バドミントン

社会人会員募集

社会人の初心者や初級者を対象としたバドミントン教室です。

対象 市内および近郊に居住する社会人(学生不可)

期間 12月～平成24年3月30日(金)

日時・場所 毎週火曜日 午前10時～正午

市民スポーツセンター2階競技室(大谷6-28)

▽毎週金曜日 午後1時～3時

勤労青少年ホーム(大谷6-128)

受講料 月額2000円

※別途、保険料1600円が必要です。

申込方法 電話かファックスで住所、氏名、年齢、電話番号を伝える

申込・問い合わせ先 NPO法人 春日イーグルス

☎(595)5197

☎(586)9066



できることから始めよう！ STOP地球温暖化

電力不足が予測される今冬は、次のポイントを参考に節電に取り組み、エコで快適に過ごしましょう。

▷暖房の室温設定は20℃を目安に！

室温を上げる前にもう一枚重ね着をしましょう。
また、湿度が高くなると体感温度が上昇するので、加湿器やストーブにやかんなどを置いてお湯を沸かすと寒さを感じにくくなります。

▷手軽に取り組める照明を見直そう！

家庭ではエアコン、冷蔵庫に続き、3番目に電力を使うのが照明器具です。
白熱電球(54ワット)は最新式の32型液晶テレビとほぼ同じ電力を消費します。日没が早くなるこの時期だからこそ、不要な照明を消すように心掛けましょう。
また、エアコンや冷蔵庫に比べると、照明器具の買い替えは小さな負担で、大きな効果が期待できます。大掃除の際に、白熱電球を中心に、電球型蛍光灯やLED電球に買い替える検討をしてみませんか。

▷待機電力を見直そう！

家電製品はコンセントにつないでいるだけで電力を消費します。使用していない家電のプラグは抜き、テレビなどはリモコンではなく本体の主電源を切りましょう。
また、外出時には、温水洗浄便座、電気ポット、給湯器の電源も切りましょう。

※出典：節電.go.jp「今冬の節電メニュー」、資源エネルギー庁「省エネ性能カタログ2010年冬版」

問い合わせ先 環境課 ☎(584)1111 ㊟(584)1147



OTHER
その他

▷協力をお願いします 労働力調査を実施

総務省と福岡県では、毎月、労働力調査を実施しています。
労働力調査は、日本の失業率や雇用の実態を明らかにする重要な統計調査です。
統計調査員が調査のため皆さんの自宅を訪問した際には、ご協力をお願いします。
調査地区・期間

▽大和町5丁目

平成24年1月～2月

▽春日原南町2・3丁目

平成24年2月～6月

問い合わせ先 福岡県調査統計課

☎(651)1111

㊟(643)3192

ふくおか農林漁業 新規就業セミナー・就業相談会

農林漁業を始めてみたい人や農林漁業事業体への就職を希望する人を対象に、就業セミナー・就業相談会を開催します。
参加は無料で、申し込みも不要

です。

日時 平成24年1月7日(土)

午後1時～4時30分(受付：午後0時30分～3時30分)

場所 エルガーラホール(福岡市中央区天神1-4-2)

内容 就業情報の提供、個別相談 ※農業法人などへの就職面接会ではありません。

問い合わせ先 福岡県農林水産政策課後継人材育成室



住居・生活困窮者相談支援 年末強化キャンペーン

福岡労働局では、年末に向け、「すまい」「せいかつ」「しごと」に困っている人に対する支援策である第2のセーフティ・ネットなどの周知を強化するため、11月から12月にかけてキャンペーンを実施しています。

期間中は、県内の公共職業安定所(ハローワーク)に「専門相談窓口」や「情報コーナー」を設置し、「すまい」や「くらし」の不安について相談に応じます。
詳しくは、最寄りのハローワークに問い合わせてください。

問い合わせ先

▽福岡労働局職業安定部

☎(434)9805

㊟(434)9821

▽ハローワーク福岡南

☎(513)8609

㊟(513)8606

知っていますか 「求職者支援制度」

10月から始まった求職者支援制度は、雇用保険を受給できない求職者などに対し、無料の職業訓練(求職者支援訓練)を実施する制度です。

また、本人や世帯の収入、資産など一定要件を満たす場合は訓練期間中に職業訓練受講給付金を支給するとともに、公共職業安定所(ハローワーク)が積極的な就職支援を行い、早期の就職を目指します。

詳しくは、最寄りのハローワークに問い合わせてください。

問い合わせ先

▽福岡労働局職業安定部

☎(434)9805

㊟(434)9821

▽ハローワーク福岡南

☎(513)8609

㊟(513)8606

記事の訂正

市報に掲載した内容に誤りがありました。お詫びして訂正します。

○11月15日号8ページ「春日市スポーツフェスタ」

訂正箇所 ゲートボール一般の部の優勝団体

▽誤 須玖南自治会

▽正 若葉台西自治会

問い合わせ先 スポーツ課

☎(571)3234

㊟(585)1634

○12月1日号6ページ「南部白水区地区計画(変更案)」

訂正箇所 計画案に対する意見書提出期間

▽誤 12月19日(月)～26日(月)

▽正 12月2日(金)～16日(金)

問い合わせ先 都市計画課計画担当

☎(584)1111

㊟(584)1143



老人性難聴について

老人性難聴は加齢現象によって引き起こされる難聴です。

症状は40歳ごろから次第に始まり、65歳以上の高齢者の30〜40%、75歳以上の50〜60%、80歳以上の約70%以上が発症しているという推計もあります。

症状は？

聴力の低下は高音域から発生し、次第に人の会話音域、低音域へ広がっていきます。さらに、両側性で左右にあまり差がないのが特徴です。したがって早期には難聴の自覚がないことも多くあります。

難聴が発生した場合、ただ単に音が聞こえなくなるだけでなく、音は聞こえるが何を言っているか分からないという状態になることもあります。これは、言葉の聞き取り能力が低下しているためで、老人性難聴で見られます。

そのため、コミュニケーションに大きな支障が生じ、生活に影響が出てくるため、気持ちが悪くなり、引き込みがちになり、うつ症状や認知症を発症してしまうケースも少なくありません。

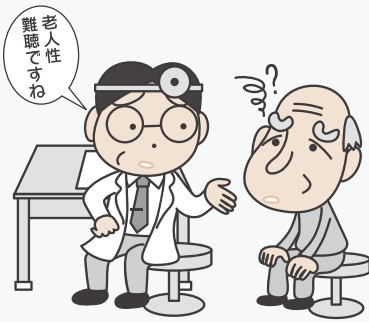
症状が表れたら・

老人性難聴の症状が表れたら、早めに医師に診てもらい、検査を受けることが重要です。高齢者の中には「耳鳴り」の症状を訴える人も多くいますが、老人性難聴と関係している場合もあります。

また、老人性難聴は、本人が気付かないことも多くあります。家族や周囲の人は、本人に「人の話しを何度も聞き返す」「電子音に気付かない」などの異変が見られたら、耳鼻科への早めの受診を勧めましょう。

話し掛け方のポイント

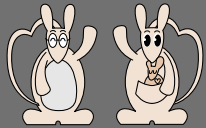
難聴がある人は、通常の聴力がある人と同じように聞こえるわけではありません。ゆっくり、はっきり、その人の顔を見ながら、できるだけ静かなところで話すようにしましょう。



言語の処理能力を補うためには、ゆっくり、はっきり話すことが基本です。難聴がある人は、知らず知らずのうちに話す人の口元を参考に、何と言っているのかを類推し、言葉の理解に役立てているからです。

また、老人性難聴では、高音より低音の方が聞こえやすいため、話をするときには、できるだけ低い声で話すことも大切です。

カンガルー通信



春日市子育て支援センター

(須玖南2-120すくすくプラザ内)

☎(584)1010 ☎(584)7739

http://www.city.kasuga.fukuoka.jp/kosodate

たんぽぽメール

○小児科医を囲んで座談会

10月18日にすくすくプラザで、横山 隆さん(横山小児科医師)を講師として招き、風邪のはやりやすい季節の前に「風邪



について」をテーマに座談会を行いました。

講演では、参加者から事前に出された質問を織り交ぜながら、月齢に添ってかかりやすい病気の症状とその対応につ

いてなど、さまざまなお話がありました。参加者はメモを取りながら話に聞き入っていました。

質疑応答では予防接種の受け方などについて、日頃気になっていたことを気軽に聞くことができたようです。参加者が質問しているときは他の参加者もうなずきながら聴く姿が見られ、互いに共感し合い、疑問も解消されていました。

◆作ってみよう「雪の結晶のオーナメント」◆

夜の図書館で好評だった工作を紹介します。この季節にぴったりの雪の結晶のオーナメントです。糸を付けて、天井やクリスマスツリーにつるすときれいですよ。



作り方を載せたチラシを市民図書館(大谷6-24)とたんぽぽルーム(すくすくプラザ内)に置いています。

折り紙8枚と簡単な作業でできるので、親子で一緒に作って飾ってみましょう。

かすが コミュニティ スクール



春日南中学校

所在地 大土居3-11-1
☎(595)0905 ㊚(595)0919

春日南中学校は、春日市で一番新しいコミュニティ・スクールとして発足して2年目になります。「未来にはばたく、なんちゅう生徒を、みんなの力で育てよう」をテーマにして3つのプロジェクトが中核となりさまざまな活動にチャレンジしています。

「学力向上プロジェクト」では、生徒の夢や目標を育むことを目指して、地域の皆さんにも参加してもらい、「夢満開講座」を年間2回開催しています。11月には、今年、ダンス世界一



▲夏休みの地域ラジオ体操への参加



▲なんちゅうカレッジによる郷土の歴史講座

の栄冠に輝いた福岡大学附属若葉高等学校ダンス部の公演を実施しました。

「さわやかコミュニティプロジェクト」では、「地域を知る、地域を感じる、地域とつながる」を目標に、積極的な地域支援活動を展開しています。地域美化活動、夏祭り支援、夏休みのラジオ体操への参加、地域運動会支援など、現在、延べ763人の生徒が地域支援に参加しています。

「なんちゅうカレッジプロジェクト」は、地域の皆さんが地道に運営して来た「なんちゅうカレッジ」を、今年は学校と地域が一体となって運営し、1・2年生全員と地域の皆さんと一緒に学ぶ機会としています。

そして、この3つのプロジェクトを推進させるために、学校、家庭、地域をつなぐ役割を果たしているのが「なんちゅうバックアップ隊」です。学校、家庭、地域で構成するバックアップ隊こそ、未来に羽ばたく「なんちゅう生徒」を育てる原動力となっています。コミュニティ・スクールとしての夢をこれからも追いかけてながら前進する春日南中学校です。

市の人口

11/15現在

◎総人口 110,020人

女 56,500人

男 53,520人

◎世帯数 44,816世帯

春日市総合情報メール

防犯・防災情報や子育て情報、健康情報など11分野の行政情報を携帯電話などにメール配信するサービスです。

下のメールアドレスへ空メールを送信し、返信メール記載のURLをクリックして表示される画面で登録してください。また、下の携帯用バーコードから、空メールを送信することもできます。

登録は無料ですが、メール受信のために所要の通信費がかかります。

✉ ksg-c@ansin-anzen.jp



問い合わせ先

地域づくり課

☎(584)1111

㊚(584)1153

2月生まれの
赤ちゃん募集
※3歳まで

写真の裏に赤ちゃんの氏名(ふりがな)、生年月日、住所、電話番号を書いて郵送してください。1月4日(水)消印有効までの到着分の中から抽選で決定します。

送り先 春日市役所
春日市役所「お誕生日おめでとう」係(〒816-8501) ※写真は返却できません。



ささき せいや
佐々木 盛弥ちゃん(天神山)
平成22年12月18日生



もりやま こはる
森山 心陽ちゃん(弥生)
平成22年12月18日生



くまもと まお
熊本 菜生ちゃん(白水池)
平成20年12月28日生



たなか ひなこ
田中 比奈子ちゃん(若葉台東)
平成20年12月26日生



12月後期



みつめ ゆういちろう
三留 佑一郎ちゃん(岡本)
平成22年12月20日生



福島県原発事故発生以来もうすぐ9カ月が経過しますが、放射能の影響への東北、関東、福島方面の県民の皆さんのやり場の無いこみ上げてくる怒りが、毎日の新聞やテレビの報道番組を見るにつけ、思いやられます。

以前、英会話を米国人の先生から習っていたときに、彼も広島市の原爆ドームに行き、米国が使用した核兵器の恐ろしさを初めて理解したと聞きました。また、われわれの世代が、核のない世界の創造の一端を担っていること、一般米国人は、原子力発電施設や戦域核兵器の世界への拡散防止を当時理解できていなかったことなどを話しました。私は、そのとき即時に、「米国に帰国したら、原子爆弾を投下された国民の被害とその後遺症被害の苦しみをよく理解し、核兵器の廃絶の話は友人たちとしてください」と伝えました。 (2)

奴国史真館

白水小学校下の遺跡

白水小学校の下には明治時代のため池と鎌倉時代(今から700年前)の墓地がありました。

小学校のある上白水地域には河川がなく、農業用水を確保するために、明治時代に新たに整理池が築かれました。白水小学校建築のため、整理池は埋め立てられることになり、発掘調査が行われました。ため池からは、^{いたび}板碑と墓が見つかり、整理池遺跡と名づけられました。墓には中国から輸入された高価な陶磁器が入っており、裕福な階級の人々がこの地域に住んでいたことが分かりました。



▲中国輸入陶磁器の青磁椀
▶板碑

(奴国の丘歴史資料館)